

学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

情報科学部

1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
情報科学部	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
情報科学部	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
情報科学部	5	5	5	5		5

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

2. 評価結果に対する総評

令和3年度が学士課程教育の完成年度となり第1期生が卒業し、卒業時アンケート等で概ね良好に教育目標の達成状況が推移していることを確認したが、更なる教育の質の改善・向上のため、令和4年度から1プログラム制から3プログラム制へ再編した。3プログラム制への再編にあたり、これまで以上に高度できめ細かい専門教育を実施するため、従前の教育内容・効果や課題を検証し、新しいカリキュラムについて、情報科学部教務委員会、運営会議、教授会・教員会で入念な検討を行った。

また、情報科学部教務委員会が中心となって、新たなカリキュラムの導入により、新設した科目区分「実践・実務科目」の授業科目開講に向け、地域企業との連携強化等を進めた。加えて実践・実務科目は新カリキュラムの2年次以降の開講だが、在学生にも非常に有用な科目であると判断し、在学生が受講できるよう科目を開講し、学生の実践的・実務的能力向上に努めた。